

発 言 通 告 書

発言者氏名	安川健人
発言の会議	令和8年 9月14日 本会議
発言の種類	質 疑、一般質問、緊急質問、討 論、その他
質疑等の方式	一 括、一問一答
答弁を求める者	市 長

【件名及び発言の要旨】

Ⅰ 地球温暖化による気象災害が激甚化する時代における「災害に強い横須賀」づくりについて

- (1) 地球温暖化に伴う気候変動によって、猛暑や豪雨などのリスクが高まる中、気候変動は環境政策だけの問題ではなく、市民の生命と暮らしを守る「危機管理上の重要課題」になっていると考える。今後の自治体の危機管理において、これまで以上に気象災害への備えを強化していく必要があると考えるが、市長の認識を伺う。
- (2) 気候変動に適応しながら、根本原因である温暖化を緩和するためには、環境部門と危機管理部門が連携し、部局を横断して取り組むことが重要であると考え。「緩和」と「適応」を車の両輪として、今後どのように取組を強化していくのか、市長の考えを伺う。
- (3) 市民一人一人の自助力を高め、近所同士で助け合える環境づくりを支援することも、行政が果たすべき「公助」の重要な役割であると考え、市長の所見を伺う。
- (4) デジタル社会において、電力を「ライフラインを支えるライフライン」と捉え、ポータブル電源を非常食や飲料水などと並

ぶ「新しい防災備蓄」の一つとして位置づけ、各家庭への普及を促していくことについて、市長の見解を伺う。

- (5) ポータブル電源とポータブルソーラーパネルを組み合わせ、各家庭が「小さな自立電源」を持つことは、長期停電への備えという防災面に加え、平時から活用することで再生可能エネルギーを身近にするという環境面、「緩和」と「適応」の双方から意義があると考えるが、市長の見解を伺う。
- (6) 市民の自助力を高め、横須賀市全体の地域防災力とレジリエンスを向上させる観点から、ポータブル電源及びポータブルソーラーパネルについて、先行自治体の制度や導入効果を調査するとともに、安全性や性能について一定の要件を設けた上で、購入費補助を含めた普及促進策を本市においても具体的に検討していただきたいと考えるが、市長の考えを伺う。
- (7) 来年春にリニューアルオープンする三笠公園を舞台に、パルクルのデモンストレーション、自衛隊や消防による災害救助活動の展示、米海軍横須賀基地との連携などを組み合わせた、横須賀ならではの防災運動会、「仮称・横須賀防災スポーツフェス」の開催を検討していただきたいと考えるが、市長の所見を伺う。